

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 富士会)

事業所名 (ヴィラトピア知立)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
移乗サポートロボット		ハグ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成30年10月 2日	1	平成30年10月 2日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>トイレ介助用に特化して1名のご利用者に対し使用していたが、現在では、その前段階の移乗リハビリに使用することで、ご利用者に対し機械に慣れて頂き、多目的に使用できるよう活用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>移乗介助における介護職員の負担はかなり大きいものがあるが、やはり時間効率を先に考えてしまい、無理な介助を行ってしまう状況にあった。この中でハグの使用は介護職員の意識を変える効果はあった。</p>				

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 なごや福祉施設協会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム なごやかハウス滝ノ水)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ ① / ②		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
装着型介護ロボット (移乗・排せつ・入浴)	HAL 介護支援用(腰タイプ)CB-2		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月1日	4台	平成30年11月1日	平成30年11月1日から 令和5年10月31日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○介護職員が単身で介助を行うことが多い夜勤帯を中心に使用している。日勤帯では腰への負担が重い移乗介助時に使用している職員もいる。中腰姿勢になることが多いオムツ交換や体位変換、移乗時での介助に使用することで介護職員の腰部への負担を減少して腰痛予防に繋がっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>○夜勤勤務終了後の介護職員の腰部疲労感の軽減。令和2年度に腰痛による体調不良を起こした介護職員は1名であったが、当該介護職員はHALの使用に不慣れでHALを使用していなかった。その他で腰痛を訴える職員はいなかった。</p> <p>○ご利用者に職員が装着したHAL本体のフレームをつかんでいただくことで、より体を密着することができ、簡単・安全に移乗介助を行うことができる</p> <p>○介護福祉士や社会福祉士、看護師等の施設実習や理学療法士の介護体験実習受け入れ時に実際に実習生にHALを使用させることで、職員の安全衛生やICT・介護ロボットなど最先端技術を積極的に取り入れている法人であることをPRすることができる。</p> <p>○職員の動きや発汗により、体に貼った電極パッドが剥がれるエラーが出やすいためベルト式の電極パッドを導入している。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別紙 4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストロボット リシヨーンネ Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 10 月 26 日	1 台	平成 30 年 10 月 26 日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>体格が大きいため、ベッドから車いすへの移乗時に職員が2名以上で抱え上げる必要があった利用者に対して使用した。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>当該ベッド利用者について、介護職員が1人介助でも抱え上げずにベッドから車いすに移乗させることができ、腰への負担が軽減された。特に夜勤時間帯など職員数が少ない時間帯の離床負担軽減につながった。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介助用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月25日	3	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各フロアで気軽に職員が使用できるようにオープンスペースに保管し、主に排泄介助時やおむつ交換時に使用 新人職員に積極的活用してもらえよう、新人研修にて活用 外部で実施する介護フェアに持参し、参加者(一般市民)に対して体験会を実施している 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員より体重の重い重介護者の移乗・トイレ介助を実施し前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、腰部にかかる負担が軽減されていることを実感 就職フェアや介護フェアなどで職員の腰痛予防対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視と最先端の取り組みをおこなっていることをアピールしている 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介助用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月25日	3	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各フロアで気軽に職員が使用できるようにオープンスペースに保管し、主に排泄介助時やおむつ交換時に使用 新人職員に積極的活用してもらえよう、新人研修にて活用 外部で実施する介護フェアに持参し、参加者（一般市民）に対して体験会を実施している 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員より体重の重い重介護者の移乗・トイレ介助を実施し前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、腰部にかかる負担が軽減されていることを実感 就職フェアや介護フェアなどで職員の腰痛予防対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視と最先端の取り組みをおこなっていることをアピールしている 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (さくら福祉事業会)

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介助用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月25日	1	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各フロアで気軽に職員が使用できるようにオープンスペースに保管し、主に排泄介助時やおむつ交換時に使用 新人職員に積極的活用してもらえよう、新人研修にて活用 外部で実施する介護フェアに持参し、参加者(一般市民)に対して体験会を実施している 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員より体重の重い重介護者の移乗・トイレ介助を実施し前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、腰部にかかる負担が軽減されていることを実感 就職フェアや介護フェアなどで職員の腰痛予防対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視と最先端の取り組みをおこなっていることをアピールしている 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

別紙4

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム春緑苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援ロボット		離床アシストロボット リショーネ Plus (型番: XPN-S10601) パナソニックエイジフリー株式会社	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月29日	1台	平成30年10月29日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中、夜間を通して毎日使用。 ・対象者は虚弱者や急性期患者、身体的な理由における移乗困難者などに設定し優先度を考慮しながら適宜最優先とされる方に利用している。 ・居室で寝たきりとなってしまう状態の方でも、体調面に配慮しながら様々な活動への参加を促進し楽しみある生活を送って頂く為に使用。 ・入居者様と職員の移乗時における身体的負担の軽減を行う事を目的として活用。 ・安全に活用する為に、操作マニュアル(操作手順と使用上の注意点等記載)を用意し継続的に使用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移乗回数の削減により職員との密着回数が削減され感染症リスクの軽減につながった。 ・移乗回数の削減で対象者、職員ともに身体的負担の軽減ができた。 ・対象者が居室にこもる事なくなり、生活シーンの多様化(レクリエーション等への参加)が出来た。 ・従来、移乗に職員を2人要していた方に対して一人で介助(リショーネ Plus の操作が)できるようになったのでマンパワー不足の軽減にもつながった。二人で介助する為の職員を要請する手間や時間や気兼ねがなくなった。 ・移乗時に皮下出血や剥離等の事故リスクが軽減で来ている。 ・疾病などで医師から安静指示が出た場合でも対応ができています。 ・リショーネ Plus の活用を通して、該当製品以外の介護ロボットの活用でノーリフト介護への意識が高まった。 ※令和2年度実績…移乗用リフトの追加導入 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。